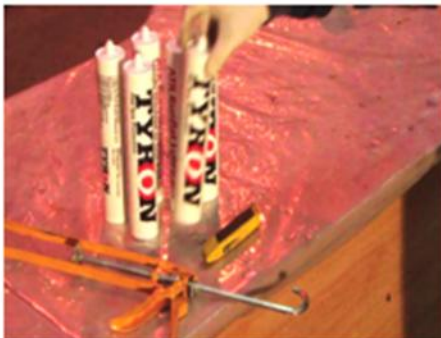


1. タイヤのサイズと必要な潤滑油の数を確認する。



2. 例: 1400R20 のタイヤには 6 本の潤滑油が必要。



3. タイヤの内面に潤滑油を均等に塗布する。



4. 必要に応じて、作業をしやすくするために道具でビードを広げる。ボトルジャッキを使用することも可能。



5. 接続部とランフラットの側面にタイヤソープ塗る。



6. 注：挿入時にランフラットの上下を間違えないようにすること。



7. ねじの部分を上にはしてはいけない。



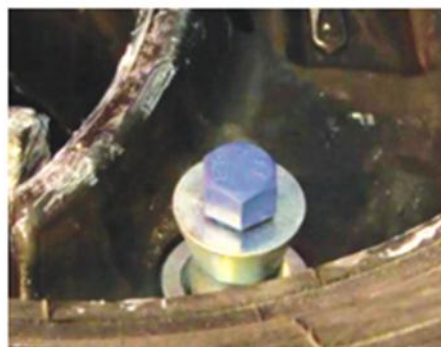
8. こちらの面を上にする。



9. 2 個のランフラットパーツを入れる。



10. 接続部を合わせる。



11. ボルトを挿入し、手で緩く止める。



12. タイヤを持ち上げると、ランフラットパーツは重力でタイヤの中で落ちる。



13. 3 個目のランフラットパーツを挿入する。



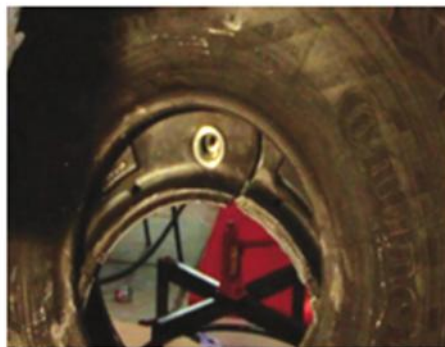
14. 接続部を合わせる。



15. 接続部を合わせ、ボルトを手で緩く止める。



16. タイヤを持ち上げて回転させ、重力で接続部を合わせる。



17. 3 個目の接続部にボルトを入れる。



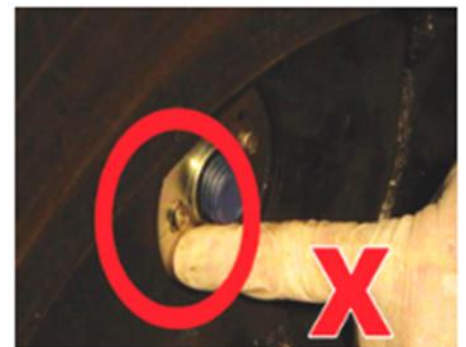
18. 30 mm のソケットで接続部を固く締める。



19. ボルトがロックリングに入っていることを確認する。締め過ぎには注意すること。



20. トルクを 55Nm に設定する。



21. これは強く締めすぎた場合の写真である。バックプレートが引っ張られ、ネジが突き出ている。(良くない例)



22. タイヤを回転させて、3 箇所の接続部を締める



23. フォークリフトの爪を下に入れるために。止め木をおき、その上にタイヤを寝かせる。

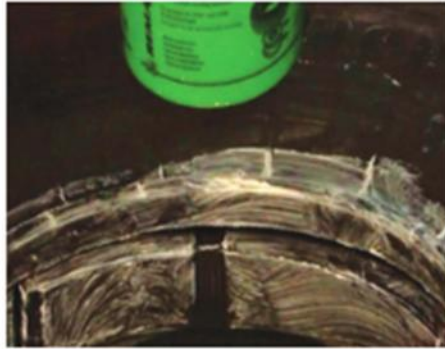


24. ボルトの頭が上になるようにタイヤを寝かせる。

ボルト付き 20 インチ・アルミニウムホイール及び ATR（全地形対応ランフラット）の取り付け方 3



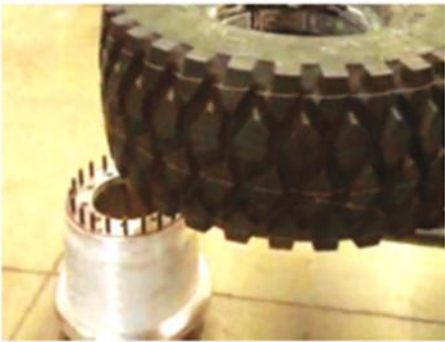
25. ランフラットの内側に潤滑油を十分に塗る。



26. タイヤのビードにも潤滑油を塗る。



27. タイヤを持ち上げる。



28. ホイールにも潤滑油を十分に塗る。ホイールの下にも止め木を置く。



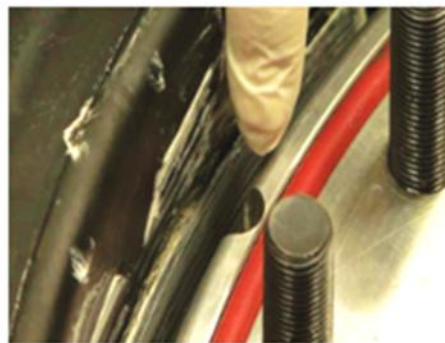
29. 体重を掛けてホイールにタイヤとランフラット押し込む。



30. ロッキングフランジの写真。



31. 注：バルブ用の穴の位置に注意すること。



32. バルブ用の穴とホイールのバルブポートを並べる。



33. ホイールの上にフランジを並べる。



34. フランジを止めるクランプボルトとナット（M20 x 120）を用意する。



35. クランプボルト（M20）とナットを手で止める。



36. クランプボルトを手で止めた状態。

TYRON

Flat Tyre Protection

www.tyron.com

www.tyron-japan.com

ボルト付き 20 インチ・アルミニウムホイール及び ATR（全地形対応ランフラット）の取り付け方 4



37. クランプボルトを手で止めた状態。



38. 1本締めた後、その反対側のクランプボルトを締める。それを繰り返すことでフランジが均一に固定される。



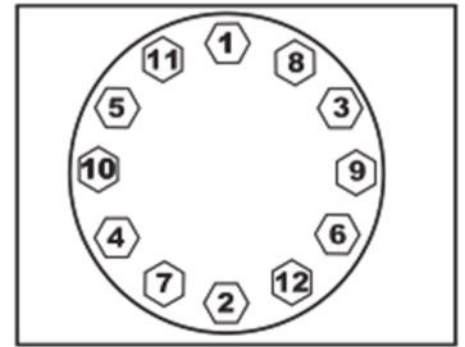
39. クランプボルトを全て締める。



40. ナットを取り付け、24mm ソケットで、4個のナットを締める。



41. この状態でクランプボルトを外し、残りの22個のナットを締める。



42. 上記の順番でナットを締めていく。



43. 22個のナットを217Nmで締める。



44. シーラーをバルブに塗る。



45. バルブを取り付けて締める。



TYRON

Flat Tyre Protection

TYRON 製品 日本総代理店
株式会社ジャパンホームランドセキュリティ
〒105-0001
東京都港区虎ノ門 3-20-5
クレイン虎ノ門ビル 4F
Tel: 03-5425-9545 / Fax: 03-5425-5852